一般乗用旅客自動車運送事業運送約款

２６年１０月１９日付改定

（適用範囲）

第１条　当社の経営する一般乗用旅客自動車運送事業に関する運送契約は、この運送約款の定めるところにより、この運送約款に定めのない事項については、法令の定めるところ又は一般の慣習によります。

２　当社がこの運送約款の趣旨及び法令に反しない範囲でこの運送約款の一部条項について特約に応じたときは、当該条項の定めにかかわらず、その特約によります。

（係員の指示）

第２条　旅客は、当社の運転者、特定自動車運行保安員（旅客自動車運送事業運輸規則第１５条の２第１項に規定する特定自動運行保安員をいう。以下同じ。）その他の係員が運送の安全確保のために行う職務上の指示に従わなければなりません。

（応急手当の協力の求め）

第２条の２　当社は、天災その他の事故により死傷者のあるときは、旅客に応急手当その他の必要な措置の協力を求めることがあります。

（運送の引受け）

第３条　当社は、次条又は第４条の２第２項および第４条の４第２項の規定により運送の引受け又は継続を拒絶する場合を除いて、旅客の運送を引き受けます。

（運送の引受け及び継続の拒絶）

第４条　当社は、次の各号のいずれかに該当する場合には、運送の引受け又は継続を拒絶することがあります。

（１）当該運送の申込みがこの運送約款によらないものであるとき。

（２）当該運送に適する設備がないとき。

（３）当該運送に関し、申込者から特別な負担を求められたとき。ただし、高速道路等有料道路（以下「有料道路」という。）を使用し営業区域の境界から概ね５０キロメートル以上離れた区域への運送を求められ、運送の引き受けをする場合は旅客から往路の有料道路料金に加え、その往路における有料道路料金を超えない範囲で復路の有料道路料金（営業区域内にある阪神高速道路料金は除く。）を求めることができる。

なお、旅客から往復路の有料道路の料金に相当する金額を求める場合には、事業用自動車内に「運送約款の当該条項」を表示するとともに、当該条項に基づき事前に運転者から旅客に対し、十分な説明を行うものとする。

（４）当該運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。

（５）天災その他やむを得ない事由による運送上の支障があるとき。

（６）旅客が乗務員（特定自動運行保安員を除く。）及び特定自動運行保安員（道路運送法施行規則第６条第１項第９号に規定する特定自動運行旅客運送を行う場合に限る。）以下「乗務員等」という。）の旅客自動車運送事業運輸規則の規定に基づいて行う措置に従わないとき。

（７）旅客が旅客自動車運送事業運輸規則の規定により持込みを禁止された刃物その他の物品を携帯しているとき。

（８）旅客が第４条の３第３項又は第４項の規定により持込みを拒絶された物品を携帯しているとき。

（９）旅客が行先を明瞭に告げられないほど又は人の助けなくしては歩行が困難なほど泥酔しているとき。

（１０）旅客が車内を汚染するおそれがある不潔な服装をしているとき。

（１１）旅客が付添人を伴わない重病者であるとき。

（１２）旅客が感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症若しくは指定感染症（入院を必要とするものに限る。）の患者（これらの患者とみなされる者を含む。）又は新感染症の所見のある者であるとき。

第４条の２　当社の禁煙車両（禁煙車である旨を表示した車両をいう。次項において同じ。）内では、旅客は喫煙を差し控えていただきます。

２　旅客が当社の禁煙車両内で喫煙し、又は喫煙しようとしている場合、乗務員等は喫煙を中止するように求めることができ、旅客がこの求めに応じない場合には、運送の引受け又は継続を拒絶することがあります。

（手回品の持込み制限）

第４条の３　旅客は、第４条第７号の物品を車内に持ち込むことができません。

２　当社は、旅客の手回品（旅客の携行する物品をいう。以下同じ。）の中に前項の物品が収納されているおそれがあると認めるときは、旅客に対し手回品の内容の明示を求めることがあります。

３　当社は、前項の規定による求めに応じない旅客に対して、その手回品の持込みを拒絶することがあります。

４　当社は、旅客が第２項の規定による求めに応じた場合においてその手回品の内容が第一項の物品と類似し、かつ、これと識別が困難であるときは、旅客がこれらの物品でない旨の相当の証明をしない限り、その手回品の持込みを拒絶することがあります。

第４条の４　旅客は当社の乗務員等に対するカスタマーハラスメント（セクシャルハラスメント、モラルハラスメントその他の旅客の発言、行動等が旅客の意図には関係なく、当社の乗務員等を不快にさせ、尊厳を傷つけ、不利益を与え、又は脅威を与える行為をいう。次項において同じ。）を差し控えていただきます。

２　カスタマーハラスメントがあった場合、乗務員等はカスタマーハラスメントの中止を求め、旅客がこの求めに応じない場合には、運送の引受け又は継続を拒絶する他、乗務員等又は当社の判断において警察等へ通報します。また、カスタマーハラスメントにより生じた損害の賠償および、慰謝料を請求します。

（運賃及び料金）

第５条　当社が収受する運賃及び料金は、旅客の乗車時において地方運輸局長の認可を受け、又は地方運輸局長に届出をして実施しているものによります。

２　前項の運賃及び料金は、時間貸しの契約をした場合を除いて、運賃料金メーター器の表示額によります。

（運賃及び料金の収受）

第６条　当社は、旅客の下車の際に運賃及び料金の支払いを求めます。

（旅客に対する責任）

第７条　当社は、当社の自動車の運行によって、旅客の生命又は身体を害したときは、これによって生じた損害を賠償する責に任じます。ただし、当社及び当社の係員が自動車の運行に関し注意を怠らなかったこと、当該旅客又は当社の係員以外の第三者に故意又は過失のあったこと並びに自動車に構造上の欠陥又は機能の障害がなかったことを証明したときは、この限りではありません。

２　前項の場合において、当社の旅客に対する責任は、旅客の乗車のときに始まり、下車をもって終ります。

第８条　当社は、前条によるほか、その運送に関し旅客が受けた損害を賠償する責に任じます。ただし、当社及び当社の係員が運送に関し注意を怠らなかったことを証明したときは、この限りではありません。

第９条　当社は、天災その他当社の責に帰することができない事由により、輸送の安全の確保のため一時的に運行中止その他の措置をしたときは、これによって旅客が受けた損害を賠償する責に任じません。

（旅客の責任）

第１０条　当社は、旅客の故意若しくは過失により又は旅客が法令若しくはこの運送約款の規定を守らないことにより当社が損害を受けたときは、その旅客に対し、その損害の賠償を求めます。